経済統計 練習問題

第27回 景気指標(3)

2014 年 1 月 20 日

問　次の (あ) ～ (き) の文章について、正しければ○ 間違っていれば× を解答欄に記入せよ。

(あ) 景気の谷から山までを拡張期、山から谷までを後退期といい、この 2 つをあわせて 1 循環という。

(い) 景気動向指数の CI は、景気の局面 (上昇・下降) の判断には有効であるが，景気変動の大きさや量感の判定には適さない。

(う) 景気動向指数の先行系列に採用されるものは、景気の変化に先立って上昇・下降の変化をする。

(え) 景気動向指数の DI が 0 のとき、景気の谷である。

(お) 日銀短観の業況判断 DI は、景気の山の時に大きい値を、景気の谷の時に小さい値をそれぞれとる。

(か) 景気ウオッチャー調査は、景気に関連深い経済活動項目の動向を観察できる立場にある人に、調査をおこなうものである。

(き) 実質 GDP は、景気動向指数の一致系列に採用されている。

解答欄

(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)	(か)	(き)